

仮想空間(メタバース)で誰ひとり取り残されない学びの場を確保 ～ 児童生徒の社会的自立のための支援事業の試行実施について ～

令和8年5月26日

京丹後市教育委員会

京丹後市教育委員会では、1人1台端末を用い誰ひとり取り残されない学びの多様化プランの1つとして仮想空間（メタバース）での支援事業「オンラインによる居場所」の試行実施を行うことになりましたので、お知らせします。

京丹後市教育委員会では、平成24年度に教育支援センター「麦わら」を開設、また令和7年度に校内フリースクールを設置し、様々なこころの状態にある児童生徒の学びの場所の確保に努めてまいりました。

本事業は、GIGA スクール構想に基づく1人1台端末を活用し、新たに仮想空間上にオンラインの居場所を開設し、学びの場所の選択肢を増やすとともに、対人緊張感が強い等、既存の支援につながりにくい児童生徒を対象とし、安心・安全を担保し、心理的ハードルを下げることで支援へのつながりを作りながら、児童生徒の学習意欲の向上や自尊心の回復を目指すものです。

令和8年度は試行実施として検証を行い、仮想空間での学習支援のあり方、他者との交流を深めるための効果的な方法等について研究を進めていきます。その上で、仮想空間から現実な体験へとつなげるための効果的な取組についても研究を進め、次年度以降の取組に活用し、児童生徒の自立に向けた支援の充実を図ってまいります。

■取組概要等

1 実施期間

令和8年6月1日～令和9年3月31日*

*6月1日～6月30日までを準備期間とし、対象者への周知・説明、仮想空間の体験を行い、申込・本登録を経て個別に順次利用開始となります。

2 実施内容

- (1) 仮想空間の提供
- (2) 仮想空間での教科授業（5教科）の実施
- (3) 仮想空間での集団による探究授業の実施

(4) 利用児童生徒の登校状況のレポート作成（毎日、毎月）

3 児童生徒の利用時間

休業日を除く月・水・金の10:00～16:00

4 対象人数および対象者

(1) 対象人数 10人

(2) 対象者 市内在住の小学校4年生～中学校3年生のうち、学校はもとより教育支援センターや校内フリースクールにも通いにくい状況にある児童生徒

5 選考方法

(1) 学校から該当児童生徒^{*}と見込まれる保護者へ家庭訪問や相談等にて周知

(2) 保護者から学校（もしくは教育委員会）へ利用希望の提出

(3) 学校は当該児童生徒の登校等の状況を教育委員会へ報告

(4) 教育委員会にて書類の確認を行い、利用の可否を決定し保護者へ送付

^{*}該当児童生徒の見込人数：20名（5月1日現在）

6 予算措置 990千円

仮想空間での学習支援および体験授業の実施に係る業務委託費用

7 業務委託先

本事業は以下の事業者へ委託して実施します。

株式会社 成基（京都府京都市中央区烏丸通二条上ル 蒔絵屋町 265-2）

8 その他の支援の取組

教育支援センター「麦わら」平成26年より継続実施中

校内フリースクール（中学校のみ）令和6年度より継続実施中

1人1台端末匿名相談 令和6年度より継続実施中

■問い合わせ

京丹後市教育委員会事務局学校教育課（電話 0772-69-0620）

担当：片柳

仮想空間（メタバース）を

活用した学習など



令和8年度試行実施

メタバースって？

『インターネット上の仮想空間』のことです。自分のアバター（メタバース上の分身）を使って、メタバース内で先生や参加者と会話をしたり、学習をしたり様々な活動を行うことができます。

仮想空間（メタバース）で つながってみませんか

毎週月・水・金曜日開講

京丹後市教育委員会では、様々なこころの状態にある子どもたちへの支援として、学習や体験を通して交流をすることで人とのつながりを持つことに喜びを感じてもらうことを目的にメタバース空間への登校の取組を実施いたします。

ホームルームではミニゲームやクイズを行い、みなさんとの交流を深められるようにします。教科の学習では、自習スペースを提供し、わからないところは気軽に聞くことのできる安心できる雰囲気づくりに取り組めます。

探Q授業では、子どもたちが興味を持ちやすい内容とし、子どもたちの主体性を尊重しながら、学ぶことの面白さが自然と伝わるプログラムを提供したいと考えております。

時間/曜日/学年	ある一日の時間割例	
	小学生	中学生
10:00~10:10	朝の会（SHR）	
10:10~12:00	探Q授業 1コマ40分×2コマ	5教科学習 自習室+相談サポート
12:00~13:00	空間開放+オンライン昼食	
13:00~13:10	昼の会（SHR）	
13:10~15:00	5教科学習 自習室+相談サポート	探Q授業 1コマ40分×2コマ
15:00~16:00	空間開放+個別相談	

※毎週月・水・金開講です。

目的

仮想空間（メタバース）にて安心安全な居場所を提供し、子どもたちの学びの機会を大切にしながら、他者とのつながりに喜びを持つようになることを目指します。

対象者

京丹後市の小学校4年生から中学校3年生までで、学校や教室をはじめ、校内・外のフリースクールにも通いにくさを感じている子どもたち

裏面もあります

Q&A

Q. すべての活動に参加しなといけないですか？

A. お子さんのできるペースで進めることができます。
活動時間内であればいつでも入室・退出は可能です。



Q. 先生はどなたでしょうか？

A. 仮想空間の専門の先生がされますので安心ください。

Q. 欠席の連絡は必要ですか？

A. 事前の欠席連絡が難しい場合は連絡なしでも問題ありません。

Q. 活動中は先生や他の参加者と話をしないといけないですか？

A. 活動中は「カメラとマイクのON/OFF」を選択できます。
その他、チャットやリアクションボタンでコミュニケーションをとることができます。

Q. 本プログラムの活動に参加したら、学校の出席扱いになりますか？

A. 一定の要件を満たすことで出席扱いや成績評価を行うことができます。
(子どもの学習や活動内容は所属の学校にもお知らせします。)

Q. 子どものプライバシーや個人情報はどのように保護されますか？

A. 本名を使わず匿名で交流できます。
子ども同士だけのチャット機能は使用できません。
なお、個人情報は厳密に守られますので安心です。

お申し込み方法

本プログラムの利用を希望する際には、申し込みが必要となります。
在籍校や市教育委員会へご連絡（電話・メール、申し込みフォーム<QRコード>）
をお願いします。

【問い合わせ先】

京丹後市教育員会事務局 学校教育課



電話：0772-69-0620

メールアドレス：gakkokyoiku@city.kyotango.lg.jp



業務委託先の情報について

業務委託先 株式会社成基（設立昭和 37 年 従業員数 2,000 名）
住 所 京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町 265-2 SCG ビル
代表取締役 佐々木 雄紀

仮想空間（メタバース）登校支援の取組のこれまでの成果について

令和 6 年度および令和 7 年度について京都市が株式会社成基に業務委託を行い、仮想空間（メタバース）にて不登校の児童生徒への「オンラインの居場所」を開設し、学習等の支援に取り組んでおられます。

授業では、クイズ、実験、プログラミング等の双方向型・体験型の学習を行い、子どもたちの主体的な取組を促す建付けになっています。

表 オンラインの授業のイメージ

授業名	内容
情報教育	情報モラルや情報リテラシーを学ぶ
起業家教育	社会課題を見つけ、解決に向けて主体的に考える力を育む
プログラミング教育	Scratch を使用したプログラミングおよびプログラム思考の学び
SDGs 教育	17 の課題について身近な生活と結びつけながら自分にも行える具体的行動を提案
教科学習	デジタル教材「すらら」を用いたドリル学習を基本に講師が質問を受けながら進める

京丹後市では、令和 8 年度の取組として、安心して学ぶことのできる居場所作りの整備を成基と進めながら、児童生徒のニーズの把握を進めて参ります。